

591. 雜記 III

南 栗 道 夫 (阪大)

§ 函數空間 = 於ケル平易ナ一例

①^{*} 區間 $a \leq x \leq b$ = 於ケル連続函数 $f(x)$ [$f(x)$ ハ實數] ノ全体カラ成ル集合 = 於イテ, ソノ各要素 $f(x) =$

Norm (絶対値ノ如キモノ) $|f|$ ヲ次ノ如ク定義シタトキ
此ノ集合ヲ C デ表ハス。

$$|f| = \text{Max}_{a \leq x \leq b} [|f(x)|]$$

$C =$ 於ケルニツノ要素 f_1, f_2 ノ距離ヲ

$$|f_1 - f_2| \leq \text{Max}_{a \leq x \leq b} [|f_1(x) - f_2(x)|]$$

トスルトキ, C ハ完全ノ距離空間 (Cauchyノ収斂條件が成立スル) トナル。何トナレバ C ノ距離ノ意味ニ於ケル収斂ハ, $a \leq x \leq b$ = 於ケル一様収斂デアルカラ。

次ニ $C =$ 於テハ, C 内デ至ル所密 = 分布セル可附稱集合が含まレテキル。 [C が separable デアルトイフ]。

何トナレバ $a \leq x \leq b$ ヲ n 等分シ, ソノ各分点デ有理数值ヲトルマウナ多角形函数 [相隣ル分点ノ間デ一次函数トナル連続函数] ノ全体がソレデアルカラ。

又 C ノ部分集合 M が C 内デ緊ツテキル [M ノ任意ノ無限部分集合が $C =$ 於ケル集積点 (函数) ヲ有スルコト] 爲メハ, M が 一様有界且ツ同程度連続 ナルコトが必要且ツ充分デアル (Ascoli-Arzelàノ定理)。 [緊ツ

* (前頁) □ = 述べテアルコトハ充分御存知ノ方モ多イケレドモ, 御存知デナイ方モアルト思ツテ, ワザワザ大要ヲ説明シテオキマス。

テキルノ原語ハ compact ナス]

C ハ函数空間ニ於ケル最モ初等的ナ一例ヲアル。

[2] 次ニ C = 次イテ初等的ナ函数空間ノ一例ヲ述ベヨウ。

C ノ各函数ハ多角形函数ヲ近似 (一様収斂ノ意味ヲ) 出来タ。今度ハ 階段函数 ヲ一様ニ近似出来ルヤウナモノハ何ヲアラウカ?

階段函数トハ $a \leq x \leq b$ ノ有限個ノ區間ニ分ケ、ソノ各區間ニテ常数ニ等シイヤウナ函数ヲイフ。

特ニソノ各區間ガ左端ニ於テ閉テキル (左端ヲ含ム) トキニハ、右ニ連続ナ階段函数トイヒ、各區間ガ右端ニ於テ閉テキルトキニハ左ニ連続ナ階段函数トイフ。

1° 今 $a \leq x \leq b$ ノ各点 ξ ニ於テ

$$(1) \lim_{x \rightarrow \xi - 0} f(x) = f(\xi - 0), \quad \lim_{x \rightarrow \xi + 0} f(x) = f(\xi + 0)$$

兩方共有限確定テ且ツ

$$(2) f(\xi + 0) = f(\xi)$$

ナル函数ノ全体ヲ D_+ トシ、(2) ノ代リニ

$$(2') f(\xi - 0) = f(\xi)$$

ナル函数ノ全体ヲ D_- ナ表ハス。

D_+ 或ハ D_- ニ於テハ、ソノ各要素 (函数) $f(x)$ ノ $\text{norm } |f|$ ヲ

$$|f| = \sup_{a \leq x \leq b} |f(x)|$$

= ヲツテ定義スル。 D_+, D_- = 於ケル收斂ハ一樣收斂ヲ意味スル。 D_+, D_- が完全ナ距離空間ナルコトハ容易ニ証明出來ル。

D_+ ハ右 = 連続ナ階段函数 = ヲリ一樣 = 近似出來ル。又 D_- ハ左 = 連続ナ階段函数 = ヲリ一樣 = 近似出來ル。(証明容易, Borel ノ被覆定理應用)。

2° 次 = D 内 = 於ケル緊集合 \mathcal{M} ノ條件ヲ考ヘヨウ。

今 $\mathcal{M} = \{f(x)\}$ が $x = \xi =$ 於テ右 = 同程度連続トハ, 任意ノ正ノ數 $\varepsilon =$ 對シ

$$\xi < x, x' < \xi + \delta(\varepsilon)$$

ナラバ常ニ

$$|f(x) - f(x')| < \varepsilon$$

トナルヲ右ノ正ノ數 $\delta(\varepsilon)$ が存在スルコトヲイフ。(左 = 同程度連続モ同様ニ定義サレル) ($x \neq \xi, x' \neq \xi =$ 注目アレ、又 $\delta(\varepsilon)$ ハ $\xi =$ 關係スル)

$$D_+ \supset \mathcal{M} \quad (D_- \supset \mathcal{M}, \text{時ニ同シ})$$

が D_+ 内ニ緊ツテキルタメニハ, 次ノコトが必要且ツ充分ナル。

(i) \mathcal{M} が一樣 = 有界 (\mathcal{M} 全体ニ $|f(x)| \leq M$)

(ii) $a \leq x \leq b$ ノ各点 $\xi =$ 於テ, \mathcal{M} が右及ビ左 = 同程度連続ナル。

必要ナルコトハ帰謬法ニヨル。充分ナルコトハ $\varepsilon_i \rightarrow 0$ (i 自然数) トシテ, 各 $\varepsilon_i =$ ツキ Borel ノ被覆定理ヲ應

用スレバ C の場合 (Ascoli の定理) と同様 = 証明出来ル。

尚 D_+ が *Separable* ナイコトハ

$$f_{\xi}(x) = \begin{cases} 0 & a \leq x < \xi \\ 1 & \xi \leq x \leq b \end{cases}$$

ガケヲ考ヘテ見レバ合ル (ξ ハ非可附番個存在スル)

3° 尚 $D =$ 於ケル *vollstetig* ナ *linear operator* (D 内ノ有界集合 ($|f| \leq M$ ナル f ノ全体) ヲ D 内ノ緊集合 = 移スルヲナ *linear operator*) K f ハ次ノ性質ヲ有スル。

$\varepsilon > 0$ ヲ任意ノ正ノ数トスルトキ

$$|K_f - K_\varepsilon f| \leq \varepsilon |f|$$

$$(|f| = \text{上限 } |f(x)|)$$

ナ、且ツ

$$K_\varepsilon f = \sum_{i=1}^n c_i(f) \alpha_i(x)$$

$\alpha_i \in D$, $c_i(f)$ ハ f ノ *linear fonctionell* ナルヲナ (n ハ有限ナル自然数) K_ε が存在スル。 [132号 雑記 II 参照]